

試験計画テンプレート整備パック

無料サンプル

製造業・技術職の試験計画を、AI と型で速く・漏れなく・通る形に整える

この資料の目的

この無料サンプルでは、試験計画を毎回ゼロから考えずに進めるための基本構成を紹介します。実際のパックでは、あなたの業務に合わせて、テンプレート・チェックリスト・ChatGPT プロンプト・運用ルール・補助シートを整えます。

1. このサンプルで分かること

- 試験計画テンプレートの基本構成
- 目的・評価項目・判定基準をつなげる考え方
- レビュー前に見るべきチェックポイント
- ChatGPT を整理・たたき台・点検に使う流れ
- 有料パックで整える納品物のイメージ

2. 試験計画テンプレートの一部

以下は、外向けに見せられる簡易サンプルです。実際のパックでは、業務内容に合わせて項目名や記録欄、判断基準を調整します。

項目	記入内容の例
背景	なぜこの試験を行うのか。過去の課題、変更点、確認が必要になった理由を整理する。
目的	この試験で何を判断したいのかを明確にする。
評価項目	目的に対して、何を確認するのかを整理する。
試験条件	比較する水準、基準条件、試験数、実施条件を整理する。
判定基準	試験後に良否や採用可否を判断できる基準を決める。
異常時の扱い	想定外の結果が出た場合の記録方法や判断方法を決める。
結果整理方法	報告書につながる形で、平均値、ばらつき、異常有無、採用候補を整理する。

3. チェックリストの一部

- 試験目的は明確か
- 評価項目は目的と対応しているか
- 試験条件の理由を説明できるか
- 判定基準は後から判断できる表現になっているか
- 異常時の扱いは決まっているか
- 結果整理方法は報告書につながる形になっているか
- 上司や関係者から指摘されそうな点を事前に確認できているか

4. ChatGPT プロンプト例

以下は、試験計画の整理に使うプロンプト例です。機密情報や固有名詞は入れず、抽象化した情報で使うことを前提にしています。

以下の試験情報を、試験計画書に使える形へ整理してください。

整理する観点は以下です。

1. 背景
2. 試験目的
3. 評価項目
4. 試験条件
5. 判定基準
6. 異常時の扱い
7. 結果整理方法
8. 不足している情報

特に、目的と評価項目、評価項目と判定基準がつながっているかを重視してください。

【試験情報】

ここに情報を入力

5. 使い方の流れ

1. まず背景と目的を整理する
2. 目的から評価項目を決める
3. 評価項目ごとに判定基準を決める
4. 異常時の扱いを決める
5. 結果整理方法まで先に決める
6. 最後に ChatGPT で抜け漏れを点検する
7. 数値・規格・採否判断は、必ず人間側で確認する

6. 有料パックで整えること

有料パックでは、このサンプルをもとに、あなたの業務に合わせて以下を整えます。

- 試験計画テンプレ
- チェックリスト
- ChatGPT プロンプト 3 本（整理・たたき台・点検）
- 運用ルール
- 目的・評価項目・判定基準の補助シート

有料パックで重視していること：単にテンプレを渡すだけでなく、試験後に何を判断し、どう報告へつなげるかまで見える形に整えることを重視しています。

7. 注意事項

- 本サンプルは公開用に抽象化した例です。実際の業務情報、製品名、図番、顧客名、具体的な数値は含めていません。
- ChatGPT は整理・たたき台・点検の補助として使い、最終判断は必ず人間側で行ってください。
- 規格値、仕様値、法規・契約条件などは一次情報で確認してください。